



平成4年度
博物館実習

きになる木

寄贈品コーナー展示
9月19日
~10月30日

1992年 9月20日(日)~10月30日(金)

■9月11日から一週間、博物館には学芸員の資格を取得するための博物館実習を受講する26名の大学生が集まりました。

平塚市博物館の概要説明、続いて3日間の資料整理実習を受けた実習生達が最後に挑むのは、恒例になっている寄贈品コーナーの展示制作です。今年度の展示は「きになる木」をテーマに作業が進められ、9月19日からみなさんにご覧いただくことになりました。

■今回学芸員から実習生に対して提示された展示資料は、木製の民俗資料と樹木標本等の生物資料。その資料を見て展示のテーマと構成を考えることから作業が始まります。

■作業は展示構成班、解説班、写真班、ラベ

ル班に分かれて行われました。しかし、頭のなかで考える展示作業と、実際の展示技術とではやはり隔たりがあり、思った通りに進行しない場面もしばしばだったようです。予定の19日午後3時に遅れること約5時間、夜8時すぎにようやく展示を完了しました。

■完成した展示は「家をつくる木」「知恵をふきこまれた木」「木いろいろ」の3コーナーにわかれ、常設展示「相模の家」も巻き込んだダイナミックな構成になっています。家屋に使われてきた木、木を材料として作られた道具、おやっ?と思うような意外な木の利用、そして生物としての木や植生の話を紹介しています。